

公開シンポジウム

「ウォーカブルなまちを評価する」

～居心地の良いまちを目指して～

2024年

9

月 23

日

月・祝

時間

13:00～16:00

(12:30開場)

開催形態

会場+オンライン(ハイブリッド)

会場

ステーションコンファレンス東京
6階会議室

参加費
無料

プログラム

13:00 開会挨拶

(公財)国際交通安全学会(IATSS) 2420Bプロジェクトリーダー
慶應義塾大学環境情報学部 教授 一ノ瀬 友博

13:05～14:15

話題提供

「ウォーカブル・シティを評価する視点・手法について」
慶應義塾大学環境情報学部 教授 一ノ瀬 友博
「ヨーロッパの都市のウォカビリティ」
ウィーン工科大学交通研究所 上席研究員 柴山 多佳児
「まちなかの居心地の良さを測る指標について」
国土交通省都市局まちづくり推進課 課長補佐 浅野 幸継

14:25～15:55

パネル
ディスカッション

コーディネーター 慶應義塾大学環境情報学部 教授 一ノ瀬 友博
パネリスト
早稲田大学理工学術院創造理工学部社会環境工学科 教授 森本 章倫
筑波大学システム情報系 教授 村上 暁信
立教大学経済学部経済政策学科 教授 田島 夏与
千葉大学大学院園芸学研究院 教授 岩崎 寛
東京大学生産技術研究所人間社会系部門 助教 鳥海 梓

15:55 閉会挨拶

国際交通安全学会 専務理事 河合 信之

■主催: (公財)国際交通安全学会(IATSS) 2420Bプロジェクト

■後援: 国土交通省

●お問い合わせ●

(公財)国際交通安全学会 担当: 今泉秀俊 TEL: 080-4408-7044 <https://www.iatss.or.jp/contact>

日本では急激な人口減少、超高齢化を迎え、都市のコンパクト化が進められている。しかし、ただ単に都市をコンパクトにすれば良いわけではなく、都市の活力を維持し魅力を向上させることも求められている。2019年に国土交通省に設置された懇談会では「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市再生が提唱され、2020年度から「まちなかウォーカブル推進プログラム」がスタートすることになった。

IATSSでも2020年から研究調査プロジェクト「ウォーカブル・シティ評価手法の開発」において、欧米の研究や事例を参照し、ウォーカブルな都市(ウォーカブル・シティ)を包括的に評価する手法を研究してきた。本シンポジウムではこれまでの成果と専門家による議論を公開することでウォーカブルな都市の機運醸成の一助としたい。

プロジェクトリーダー



一ノ瀬 友博氏

慶應義塾大学環境情報学部長、教授。学校法人慶應義塾理事。東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了、農学博士。日本学術振興会特別研究員、兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授、淡路景観園芸学校主任景観園芸専門員、マンチェスター大学研究員、ウィーン工科大学研究員、ヴェネツィア大学客員教授、慶應義塾大学環境情報学部准教授などを経て、2021年より現職。近年は、グリーンインフラ、生態系減災、都市のウォーカビリティなどの研究に注力している。

話題報供



柴山 多佳児氏

ウィーン工科大学交通研究所上席研究員。東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻修了。(一財)運輸総合研究所客員研究員、キャンパス・ウィーン応用科学技術大学非常勤講師、芝浦工業大学客員准教授、慶應義塾大学招聘准教授。

浅野 幸継氏

国土交通省都市局まちづくり推進課、課長補佐。これまで神戸市職員として道路、防災、まちづくりといった部署を経験。2024年より現職。官民一体で行う「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりのための取組などを担当している。

会場へのアクセス

- 住所:東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー6階 ステーションコンファレンス東京
- TEL:03-6888-8080



- J R 東京駅日本橋口直結
- ・新幹線日本橋口改札徒歩1分
 - ・八重洲北口改札徒歩2分
- 東京メトロ東西線大手町駅B7出口直結

申込期限

2024年9月13日(金)まで

申込みサイト(2次元コード)

申込方法

下記URLまたは2次元コードよりお申し込みください。
<https://www.iatss.or.jp/event/sympo/31.html>

- ・会場参加は定員(100名)を超える場合には、申し込みを締め切る場合があります。
- ・リアルタイムのオンライン視聴用URL(Zoom)は、参加登録後に配信されます。

